

作成日: 2016年06月28日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: グラスウール

製品番号(SDS NO): Glass_Wool_J-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 保温材、住宅用断熱材、吸音材、浮き床用緩衝材、化粧吸音板、産業機器の保温、保冷材

供給者情報詳細

供給者: 正城通商株式会社

住所: 〒838-0108福岡県小郡市美鈴の杜1丁目17-6

電話番号: 0942-80-0790

FAX: 0942-80-0789

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

GHS分類区分に該当せず

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
繊維状ガラス	>= 90	65997-17-3	-
熱硬化系樹脂系結合剤(アクリル樹脂)	<= 10	非公開	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

繊維状ガラス

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

繊維状ガラス

4. 応急措置

応急措置の記述

(加工時に発生した粉じんを)吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

(加工時に発生した破片や粉じんが)皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

(加工時に発生した破片や粉じんが)眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

(加工時に発生した破片や粉じんを)飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。
この製品自体は燃焼しない。

6. 漏出時の措置(加工時に発生した破片や粉じんが漏出した場合)

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置(加工時に破片や粉じんが発生した場合)

管理指標

管理濃度

(繊維状ガラス)

作業環境評価基準(2015) ≤ 0.3 fibers(5 micrometers)/cc

許容濃度

(繊維状ガラス)

日本産衛学会(2003) 1(繊維/ml)

メンブレンフィルター法で補集し、400倍の位相差顕微鏡で、長さ5 μ m以上、太さ3 μ m未満、長さ
太さの比(アスペクト比)3:1以上の繊維。

日本産衛学会 第3種粉塵

吸入性粉塵2mg/m³

総粉塵8mg/m³

(繊維状ガラス)

ACGIH(1999) TWA:0.2f/cc(F) (肺繊維症; 肺機能)

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：固体(繊維状ガラスをアクリル樹脂で固め、厚さ25～100mmの平板状に成型したもの)

臭い：無臭

比重/密度: 0.016～0.040g/cm³

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性データなし

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

粉じんの飛散を避けること。

環境への放出を避けること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 管理第2類

繊維状ガラス

有機溶剤等に該当しない製品

名称表示危険/有害物(令18条)

繊維状ガラス

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

繊維状ガラス(区分内番号314)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成26年度)です。